

活用データ名・指標名	指標ID	単位	備考	データの値											
				自地域 大阪府 田尻町			都道府県平均・合計			全国平均・合計			比較地域 滋賀県 豊郷町		
				2020	2021	2022	2020	2021	2022	2020	2021	2022	2020	2021	2022
認定率	B4-a	%	見える化・時系列(各年度年報)	23.2	24.1	24.5	22.3	22.6	23.1	18.7	18.9	19.0	19.3	19.9	19.7
調整済み認定率	B5-a	%	見える化・時系列(比較地域と比較)(各年度年報)	20.8	20.8	-	21.1	20.6	-	17.0	16.6	-	18.1	18.4	-
調整済み認定率(要介護3~5)	B6-a	%	見える化・時系列(比較地域と比較)(各年度年報)	6.6	6.5	-	7.0	6.9	-	5.7	5.6	-	7.5	7.0	-
調整済み認定率(要支援1~要介護2)	B6-b	%	見える化・時系列(比較地域と比較)(各年度年報)	14.1	14.2	-	14.1	13.7	-	11.2	11.0	-	10.6	11.5	-

全国平均等との比較

認定率が2021年で5.2%(2020年4.5%)高く、調整済み認定率も4.2%(3.8%)高い。
調整済み認定率が3.2%(2.9%)高く、重度認定率も0.9%(0.9%)高い。

全国平均等との乖離について理由・問題点等の考察(仮説の設定)

調整済軽度認定率が前年(2020)より0.1%上がり、依然として全国平均よりも高く、全体の認定率・調整済み認定率を押し上げている。
①前々年、前期高齢者の新規認定者の原因疾患の過半数が膝関節症等の筋骨格系の病気が原因となっていた。前年は、筋骨格系の割合が下がり、認知症の割合が増えてきている。
②身体機能の低下した前期高齢者(予備軍)が多いと思われることから、前期高齢者や若い世代から、健康づくり・介護予防を勧めることとした。
また、認知症が増加してきており、認知症対策に取り組む必要がある

設定した仮説の確認・検証方法

①新規認定者について、引き続き、認定調査票・主治医意見書からその要因を確認する。

問題を解決するための対応策(理想像でも可)

令和4年4月~12月の新規認定者77人中前期高齢者は9人、原因疾患はがん2件、脳血管2件、筋骨格系1件他となっており、筋骨格系の割合が減少している。
後期高齢者は、66件中筋骨格系29件・認知症8件・脳血管疾患8件・がん5件他で、筋骨格系、認知症に加え脳血管疾患が増えてきている。
高齢者人口が減少に転じる中、後期高齢者数は増加し続けており、特に85歳以上の年齢構成が高まるにつれ、認知症・脳血管疾患が増加してきている。これまで以上に認知症対策、高血圧予防に取り組む必要がある。

自由記述

上記のとおり、田尻町では、高齢者人口が減少に転じる中、後期高齢者数は増加し続けており、特に85歳以上の年齢構成が高まるにつれ、認知症が増加してきていることから、令和5年度は、認知症予防対策に重点的に取り組んでいる。
大阪府の認知症予防発信事業に参加し、町内3カ所の集会所で開催している「人生大漁サロン」でMCI(軽度認知障害)スクリーニング検査を実施している。
また、認知症の原因で予防できる最大の危険因子である難聴を予防するため、耳の聞こえプログラム(聞こえチェッカー、言語聴覚士による個別相談)を実施し、予防啓発を行っている。

				2020	2021	2022	2020	2021	2022	2020	2021	2022	2020	2021	2022
受給率(施設サービス)	D2	%	見える化・時系列 (各年度年報,R3はR4/2サービス提供月まで)	3.0	3.0	2.7	2.3	2.4	2.4	2.8	2.8	2.8	3.9	3.9	3.4
受給率(居住系サービス)	D3	%	見える化・時系列 (各年度年報,R3はR4/2サービス提供月まで)	1.1	1.1	1.1	1.2	1.2	1.2	1.3	1.3	1.3	0.6	0.7	0.7
受給率(在宅サービス)	D4	%	見える化・時系列 (各年度年報,R3はR4/2サービス提供月まで)	13.7	14.4	15.6	12.2	12.7	13.2	9.9	10.2	10.4	9.9	10.1	11.4

全国平均等との比較	全国平均等との乖離について理由・問題点等の考察（仮説の設定）	設定した仮説の確認・検証方法	問題を解決するための対応策（理想像でも可）
在宅サービスの受給率が2022年で5.2%（2021年4.2%）高い。 施設サービスの受給率は0.1%低く（0.2%高く）、居住系サービスの受給率が0.2%（0.2%）低い。	①軽度認定者が多いため、在宅サービスの受給率が上がっていると思われる。2021年より0.8%増 ②施設サービスと居住系サービスの受給率は全国平均より低い。町内の施設はいずれも満床となっている。	要介護度別のサービス利用の増減を、引き続き分析する。	軽度認定者の在宅サービス利用が増加していることから、引き続き前期高齢者の介護予防を勧めていく必要がある。

自由記述

--

			2020	2021	2022	2020	2021	2022	2020	2021	2022	2020	2021	2022	
受給者1人あたり給付月額(在宅および居住系サービス)	D15-a	円	見える化・時系列 (各年度年報,R3はR4/2サービス提供月まで)	122,030.2	123,953.4	127,236.4	135,706.1	137,435.2	139,461.6	129,423.3	130,298.4	130,509.1	126,087.5	119,056.0	117,611.9
受給者1人あたり給付月額(在宅サービス)	D15-b	円	見える化・時系列 (各年度年報,R3はR4/2サービス提供月まで)	112,530.8	114,916.4	117,778.5	127,752.2	129,702.0	131,640.2	118,280.6	119,151.4	119,039.3	120,776.1	113,780.3	111,763.1
受給者1人あたり給付月額(訪問介護)	D17-a	円	見える化・時系列 (各年度年報,R3はR4/2サービス提供月まで)	75,788.4	83,580.0	88,194.2	98,949.7	102,491.1	105,709.7	73,426.5	75,247.6	77,165.1	61,697.8	63,344.3	62,917.0
受給者1人あたり給付月額(訪問入浴介護)	D17-b	円	見える化・時系列 (各年度年報,R3はR4/2サービス提供月まで)	62,069.5	42,711.0	56,081.4	66,888.8	65,814.9	65,625.7	62,559.3	62,640.3	62,129.1	73,603.7	61,242.4	64,903.8
受給者1人あたり給付月額(訪問看護)	D17-c	円	見える化・時系列 (各年度年報,R3はR4/2サービス提供月まで)	35,351.4	37,963.7	40,666.8	41,922.3	42,143.1	42,076.3	41,148.1	41,445.4	41,475.8	28,370.7	30,763.3	29,300.0
受給者1人あたり給付月額(訪問リハビリテーション)	D17-d	円	見える化・時系列 (各年度年報,R3はR4/2サービス提供月まで)	33,622.1	37,534.8	35,400.8	35,855.1	36,918.4	36,883.6	33,725.7	34,160.1	33,806.8	30,403.6	30,395.0	24,652.7
受給者1人あたり給付月額(居宅療養管理指導)	D17-e	円	見える化・時系列 (各年度年報,R3はR4/2サービス提供月まで)	13,642.0	13,594.4	15,206.4	15,990.5	16,299.8	16,634.7	11,887.9	12,220.3	12,375.9	8,804.1	10,437.7	10,120.5
受給者1人あたり給付月額(通所介護)	D17-f	円	見える化・時系列 (各年度年報,R3はR4/2サービス提供月まで)	75,030.6	75,159.5	72,524.1	76,144.7	75,838.9	75,199.3	85,006.1	84,960.5	83,602.6	88,308.5	84,725.9	82,035.4
受給者1人あたり給付月額(通所リハビリテーション)	D17-g	円	見える化・時系列 (各年度年報,R3はR4/2サービス提供月まで)	57,290.4	51,305.1	48,556.8	60,390.1	60,580.1	59,569.1	59,316.7	59,650.1	58,337.2	40,624.6	43,247.7	44,511.2
受給者1人あたり給付月額(短期入所生活介護)	D17-h	円	見える化・時系列 (各年度年報,R3はR4/2サービス提供月まで)	132,093.1	104,367.0	92,001.7	119,261.6	117,922.0	115,710.3	108,509.9	109,768.7	108,846.2	87,772.6	94,827.8	98,746.3
受給者1人あたり給付月額(短期入所療養介護)	D17-i	円	見える化・時系列 (各年度年報,R3はR4/2サービス提供月まで)	103,242.9	107,813.3	109,297.5	93,343.4	96,326.7	96,666.4	90,943.8	92,181.3	91,547.6	67,536.6	53,067.3	47,997.6
受給者1人あたり給付月額(福祉用具貸与)	D17-j	円	見える化・時系列 (各年度年報,R3はR4/2サービス提供月まで)	11,513.1	11,957.1	12,548.1	12,179.8	12,286.9	12,462.6	11,659.9	11,778.4	11,961.6	13,121.6	12,744.0	13,509.5
受給者1人あたり給付月額(特定施設入居者生活介護)	D17-k	円	見える化・時系列 (各年度年報,R3はR4/2サービス提供月まで)	172,532.4	170,356.9	227,532.3	185,288.0	187,870.2	191,621.8	179,263.1	181,730.7	185,193.2	168,025.4	160,581.0	162,169.0
受給者1人あたり給付月額(介護予防支援・居宅介護支援)	D17-l	円	見える化・時系列 (各年度年報,R3はR4/2サービス提供月まで)	12,597.3	12,711.2	12,993.9	13,088.8	13,483.9	13,641.9	12,729.9	13,051.1	13,138.9	13,665.5	13,605.9	13,203.1
受給者1人あたり給付月額(定期巡回・随時対応型訪問介護看護)	D17-m	円	見える化・時系列 (各年度年報,R3はR4/2サービス提供月まで)	130,484.8	141,818.4	-	180,418.8	183,652.5	187,869.2	159,009.2	161,593.0	165,836.7	-	-	-
受給者1人あたり給付月額(夜間対応型訪問介護)	D17-n	円	見える化・時系列 (各年度年報,R3はR4/2サービス提供月まで)	-	-	-	33,962.9	31,637.6	32,434.3	39,191.3	37,505.3	38,781.7	-	-	-
受給者1人あたり給付月額(認知症対応型通所介護)	D17-o	円	見える化・時系列 (各年度年報,R3はR4/2サービス提供月まで)	-	-	-	111,931.8	110,852.9	109,857.0	118,030.6	117,875.9	116,788.7	145,948.4	148,702.2	137,333.4
受給者1人あたり給付月額(小規模多機能型居宅介護)	D17-p	円	見える化・時系列 (各年度年報,R3はR4/2サービス提供月まで)	289,770.0	291,571.2	302,477.5	196,482.3	197,711.2	203,563.3	184,451.6	188,919.4	191,507.4	290,934.8	306,511.8	282,699.3
受給者1人あたり給付月額(認知症対応型共同生活介護)	D17-q	円	見える化・時系列 (各年度年報,R3はR4/2サービス提供月まで)	261,605.6	259,513.2	265,694.7	266,810.4	268,652.3	272,879.7	256,463.0	258,748.8	262,299.9	242,762.7	238,132.9	261,478.9
受給者1人あたり給付月額(地域密着型特定施設入居者生活介護)	D17-r	円	見える化・時系列 (各年度年報,R3はR4/2サービス提供月まで)	-	-	-	209,442.1	210,574.6	211,547.2	195,137.1	198,286.6	199,992.0	-	-	-

受給者1人あたり給付月額(看護小規模多機能型居宅介護)	D17-s	円	見える化・時系列 (各年度年報,R3はR4/2サービス提供月まで)	-	-	-	279,200.7	281,941.8	287,934.6	251,873.0	257,477.4	260,269.1	-	-	-
受給者1人あたり給付月額(地域密着型通所介護)	D17-t	円	見える化・時系列 (各年度年報,R3はR4/2サービス提供月まで)	108,792.7	78,828.7	72,756.2	68,671.3	68,667.9	67,095.4	77,098.0	76,704.7	75,097.6	125,486.8	97,946.6	106,898.1
受給者1人あたり利用日数・回数(訪問介護)	D31-a	回	見える化・時系列 (各年度年報,R3はR4/2サービス提供月まで)	28.0	30.7	33.2	34.1	35.2	36.4	25.1	25.6	26.3	21.0	24.1	23.0
受給者1人あたり利用日数・回数(訪問入浴介護)	D31-b	回	見える化・時系列 (各年度年報,R3はR4/2サービス提供月まで)	4.8	3.5	4.5	5.2	5.0	5.0	5.0	5.0	4.9	5.8	4.8	5.3
受給者1人あたり利用日数・回数(訪問看護)	D31-c	回	見える化・時系列 (各年度年報,R3はR4/2サービス提供月まで)	8.2	9.0	9.8	9.7	9.7	9.6	8.8	8.9	8.9	3.9	4.3	4.8
受給者1人あたり利用日数・回数(訪問リハビリテーション)	D31-d	回	見える化・時系列 (各年度年報,R3はR4/2サービス提供月まで)	10.9	12.1	11.5	11.9	12.1	12.0	11.5	11.7	11.5	10.2	9.7	8.2
受給者1人あたり利用日数・回数(通所介護)	D31-e	日	見える化・時系列 (各年度年報,R3はR4/2サービス提供月まで)	9.9	9.8	9.2	9.8	9.8	9.7	10.9	11.0	10.8	10.9	10.8	10.5
受給者1人あたり利用日数・回数(通所リハビリテーション)	D31-f	日	見える化・時系列 (各年度年報,R3はR4/2サービス提供月まで)	5.9	5.0	4.4	5.8	5.8	5.8	5.9	5.9	5.7	6.0	5.3	4.4
受給者1人あたり利用日数・回数(短期入所生活介護)	D31-g	日	見える化・時系列 (各年度年報,R3はR4/2サービス提供月まで)	15.1	12.3	11.0	13.2	13.0	12.7	12.9	12.9	12.8	10.2	11.4	11.6
受給者1人あたり利用日数・回数(短期入所療養介護)	D31-h	日	見える化・時系列 (各年度年報,R3はR4/2サービス提供月まで)	8.8	10.0	8.0	7.8	8.0	8.0	8.1	8.2	8.1	6.0	4.8	4.2
受給者1人あたり利用日数・回数(認知症対応型通所介護)	D31-i	日	見える化・時系列 (各年度年報,R3はR4/2サービス提供月まで)	-	-	-	10.3	10.3	10.2	10.8	10.9	10.7	13.4	13.6	12.3
受給者1人あたり利用日数・回数(地域密着型通所介護)	D31-j	回	見える化・時系列 (各年度年報,R3はR4/2サービス提供月まで)	12.6	8.1	7.4	8.9	9.0	8.8	9.7	9.7	9.5	13.5	10.4	11.9

全国平均等との比較	全国平均等との乖離について理由・問題点等の考察(仮説の設定)	設定した仮説の確認・検証方法	問題を解決するための対応策(理想像でも可)
受給者1人あたり給付月額は2.5%低い。サービス別に見ると、訪問介護(3.2%)、居宅療養管理指導(14.8%)、短期入所生活介護(21.7%)、短期入所療養介護(13.5%)、小規模多機能型居宅介護(57.1%)、地域密着型通所介護(41.1%)が高くなっている。	①軽度認定者が多いため、1人あたり給付月額は低くなっている。 ②訪問介護、地域密着型通所介護は、利用回数が多い分高くなっている。 ③短期入所生活介護、短期入所療養介護、小規模多機能型居宅介護は、利用者が少ないため、本町のような小規模自治体では、数値が大きく変動してしまう、	要介護度別のサービス利用の増減を、引き続き分析する。	訪問介護の1人あたり利用回数は、元年度30.5回、2年度28.1回(月平均)から3年度29.6回(9月実績)と多い状態が続いている。給付費が計画より7.9%増で、利用回数の8.1%増がその要因となっている。 地域密着型通所介護の1人あたり利用回数は、元年度10.7回、2年度12.7回(月平均)から3年度12.3回(9月実績)とやや減少しているものの、高水準で推移している。給付費は計画より45.5%減となっているが、コロナの影響で利用者が減少しているものと思われる。

自由記述